

第二回就職セミナーも好評を博す。

本年は11月23・24日大学内で開催



年生の「就職活動奮闘実話」は、今から自分の身に置き換えることが出来、一番好評であったように感じられます。一日目夕食後、自己紹介からスタートしたOBとの懇親会は、就職後の心構え等、日頃不安に思っていることなどいろいろな意見で盛り上がりました。二日目の模擬面接では初日に比べ、学生も緊張が融けたのか自分の意見を的確に表現し、OBの面接官役も難易度の高い質問を浴びせ、一日の長を感じずにはいられませんでした。密度の濃い内容になったと実感しました。関係者一同、学生にとって結果が出ることを期待しています。本年も11月11日(日)に開催予定です。OB諸君の多数の協力を期待しています。



「ミニタレ応援参加できる方は0120-477-9044迄ご連絡下さい。」
※留守のときは事務局から後日連絡します。

第三回就職セミナーが2001年度も十一月十七日から十八日の二日間、佐世保・鳥帽子青少年センターで学生課・鵬友会共同支援の元開催されました。当日は、個人・集団と二つの模擬面接を前日より充実させて進行。三回目ともなるとOBの体制も学生の意識にも変革が表れ、運営の仕方、面接の方法にも進歩が見られます。地元から参加の佐世保市総務部長・梅崎武生氏と親和銀行人事部長・坂本博氏の講演は日頃の実践そのままに大変迫力があり、学生達には参考になった様子。さらには就職戦線を勝ち抜き、今まさに栄冠を勝ち取ったばかりの四

おおとりの羽音が聞きたい!

長崎県立大学事務局長 星野 孝通

1967年4月に入学してから35年の歳月が立った今年4月、弓張と将冠に抱かれた懐かしい母校に事務局長として赴任して来ました。皆さんお久しぶりです!

着任早々の4月から大学は大きく揺れました。その様子を皆さんに報告します。その中で、一緒に大学のことを考えていただきたいと思います。

まず国旗掲揚のことです。前々学長はご自身の考えの下に国旗は掲揚しませんでした。前学長は個々の人の国旗掲揚に関する考え方と別に、大学行事の一環として本来の入学式で国旗を掲揚しました。

飛翔するおおとりの学章が舞台上の中央壁に、そしてその右下の舞台上に国旗、県旗、学旗が並べて置かれました。国・県・大学が風を送って学生がおおとりをイメージするのです。これにより、国旗掲揚を勧める大学設置者の県ともコミュニケーションがとれたのも事実です。

5月、前学長が病に倒れ辞任しました。「何故学長をサポートし切れなかったのかを徹底的に解明し対策を講じたい」という思いから次の3点が改善されました。

まず、学長の意志に関係なく選挙で選ばれていた副学長が学長の指名により選ばれることになりました。

次に、学長の補助機関として管理運営会議が設置され、大学

の意思決定機関と目されていた教授会が基本的に審議機関、学長が大学の意思決定機関と位置付けられました。これにより、学長中心の大学運営が円滑化されたわけです。そして、時間短縮を始めとした教授会の運営改善が図られました。これにより、これまで長時間の多大なエネルギーを費やしていた学長の教授会議長としての負担が軽減されたわけです。

このように、学長が思い切った手を振る体制が充実された9月19日、学長不在から4ヶ月経って、信州大学名誉教授の平山祐次氏(長崎県五島出身67歳)が本学第15代学長に就任しました。折しも全国の大学は今、大学改革の大きな波の真っただ中にあります。

本県でも「シボルト大学と本学の2つの公立大学を再編統合する」と共に公立大学法人化し、個性ある大学を目指すべきだ」という県立大学あり方懇話会での審議がなされており、県や2つの大学でもこれに基づいた検討が併行して行なわれています。

このように、大学改革の大きな波の中で、県との関係や大学運営体制が摩擦を伴いながらも少しずつ改善されていることを皆さんに知っていただきたいと思います。

「いつまでたっても仲間はずれ仲間」という約1万人の仲間の応援を背に受けて、仮に県立大学が再編統合されても「その伝統の核になるのは現在の県立大学」と言われるように本学の充実に教職員一丸となつて臨みたい。そして願わくば、飛翔するおおとりの羽音を仲間と共に聞きたいものだと思います。

おおとり

長崎県立大学同窓会 鵬友会会報 Vol.15 発行 長崎県立大学鵬友会 佐世保市川下町一三三(大学内) ☎〇九五六一四七一五一四六 ☎二二〇 四七 九〇四四

新学長決まる。



元信州大学名誉教授、平山 祐次氏 副学長には、伊達木瀧之助氏 空白でありました新学長がこの度決定、次の時代に向けて進み始めました。

新学長略歴
・氏名 平山 祐次
・生年月日 昭和10年3月16日(67歳)
・出身 長崎県福江市
・現住所 長野県松本市中山台21・6
(履歴事項)
長崎東高等学校卒業
昭和35年3月 東京大学
経済学部卒業(経済学士)
昭和35年4月
経済企画庁入庁

副学長略歴
・生年月日 昭和21年7月20日(56歳)
・出身 長崎市
(履歴事項)
京都大学理学部数学科卒業
総務庁統計局統計調査部長
平成12年 長崎県立大学教授
平成13年
長崎県立大学経済学科長

伊達木瀧之助氏
・生年月日 昭和21年7月20日(56歳)
・出身 長崎市
(履歴事項)
京都大学理学部数学科卒業
総務庁統計局統計調査部長
平成12年 長崎県立大学教授
平成13年
長崎県立大学経済学科長

開学三十五周年記念

鵬友会総会開催される。

集う、全国の鵬諸氏 七月二十日・佐世保の地で



抱えてくるであろう収入減の問題や厳しさが続く就職戦線に係るセミナーのやり方の問題等の提起も出され、今後の県立大学との関わりを真剣に私たちが卒業生が考えていかなければならない重要な課題であると認識を新たにしました。続く懇親会ではうつつ変わり老若男女約100名もの参加で和やかにまた楽しく昔話や近況にも花が咲き、何とあの佐々木元学長の話や今や恒例のビンゴゲーム(今回売上は野球部全国大会出場へ寄付するもの)にも大いに盛り上がり、30分延長したにも拘わらず瞬間の時間を過ごした。今回は現在アメリカ在住の女性(平成12年卒)の赤ちゃん連れの参加もありましたよ。懐かしい先生や旧友の話が尽きないままほとんど参加者が2次会へと移動し、暫くぶりの佐世保の夜を味わいました。

また、翌日は有志によるゴルフコンペや九十九島遊覧も盛況で、九十九島ツアーでは新たに就航したばかりのパルクラインで島めぐりを家族みんなで堪能されました。

めまぐるしく移り変わる現在、時々TVや新聞等で佐世保や長崎の活字を見られた時にはしばしば懐かしいあの頃を思い出して、今の大学や現役生のことを想像してみたい。「何年たつても仲間は仲間」。私たちが今後も母校を誇りに思っていきたいと思えます。

留学生激励会

趣向を変えて開催

例年と趣向を変えて開催した留学生激励会。今年はずまずボーリング大会で幕を開けました。OBと留学生グループを組み、チーム戦で対抗。日頃運動不足のOBと元気の留学生のコンビはピンと倒れる心地よい音に酔いながら必死の面持ち。2ゲームながら楽しんでいる様子。結果を待ちながら二次会の親睦会会場レオプラザホテルへ移動。

川原教授をはじめ、岡崎教授など関係の方々及び役員とその家族約五十名が参加しての会場では、まずボーリング大会の表彰式を行い(福岡支部チームが優勝)、来賓の挨拶からスタート。例年、来賓の美味しいうり料理、カラオケ、ビンゴゲーム等参加の留学生30余名も十分に楽しんでくれた様子に主催者一同嬉しくなりました。

準硬式野球部 ベスト8に残る

本年夏、北海道で開催された全日本準硬式野球選手権大会において母校野球部が優秀な成績をおさめました。これからも皆さんの応援をお願いします。尚、全国大会での結果は次のとおりです。

- 2回戦(野幌野球場) 対東北学院大 8対5 勝利
 - 3回戦 準々決勝(丸山球場) 対中央大学 4対5 敗戦
- ※9回裏残念ながらサヨナラ負け

長崎県立大学の未来は?

創立三十五周年を記念した、平成十四年度鵬友会総会には多数の参加者により盛大に開催され、楽しい時間と体験の中無事終了することが出来ました。

鵬友会が毎年活性化して行くのと相反して、長崎県立大学の行く手に様々な問題が立ち上がっている事は、既に多くの方は御存じのことと思います。少子高齢化の中、大学の絶対数が過剰となりつつあるにも関わらず、長崎県立シボルト大学が新設されたあと、その財政的負担が言及されはじめると、県立大学のあり方についての議論が盛んとなり、次第にシボルト大学と県立大学の総合合併が避けられない状況のようにさえ言われ始めました。

更に大学の独立行政法人化という手法がまた全国的に叫ばれはじめているようです。この様な母校が直面している急激な外部からの変革には、鵬友会も的確な対応をしなければならぬと思えます。即ち、長崎県立大学の学名を残すことが出来るのか、佐世保の学舎が残されるのか、同窓会の合併は等々、様々な点に疑問符がついていると思われまます。

長崎県の県民、佐世保の市民が望む大学のあり方とはどのようなものなのか。譲るべきは譲りつつ、決して譲れないものは抵抗勢力と呼ばれてでも、阻止することにより、長崎県立大学の未来を確固と築くこと、我々鵬友会に期待されていると思えます。特に長崎県内に居住する鵬友会会員の結束が今まさに必要とされていることを、我々は自覚し、その様に進んでいきたいと思えます。

佐賀支部

●支部長 石井 博史 (46年度卒)
〒800-0423 3・1477
(自宅)
武雄市武雄町大字武雄6699

佐賀支部活動報告

今年9月になって暑さも過ぎ、健康なままですが、健康管理と、皮膚ガン等につながる紫外線に充分ご注意ください。と思います。

佐賀支部の十三年度活動について報告します。
本部役員会に計5回出席しました。六月下旬本部役員総会並びに恒例の留学生激励会に出席しました。

第三回目の就職セミナーが十一月第三土日、烏帽子岳の青少年の天地で開催され前回に引き続き参加しました。セミナーに参加した学生の皆さんは昨年より少人数でしたが、厳しい就職に向け質も上がってきているな、と痛感しました。支部の皆様のご理解とご支援をこれからもよろしくお願ひします。

なお今回は、学生のエントリーシートへの添削を各支部で行うことになり、佐賀支部では私の職場の同窓生にもお願ひし不十分ながらも割り当てられた三十四名分の添削を行うことができました。なお、申し訳ありませんでしたが、十三年度は支部総会を行っていませんでした。その代わりと言っては語弊がありますが、今年度は、二回目となる一泊での支部総会を開催したいと考えていますので、是非、ご参加いただきますようお願いいたします。

として五年間努めてきました。これからは新しい支部長を迎えていきますので、佐賀支部の皆さん、その節はよろしくお願ひします。
なお、今年度は本部総会が開催されましたが、佐賀支部からは十名の出席がありました。その内に平成九年度卒の女性が三名含まれています。我支部としても最近では最もにぎやかな本部総会のひとときがもてました。

大分支部

●支部長 瓜生田 憲治 (47年度卒)
〒907-5211 62006
(自宅)
大分市大字通3-17-1

大分支部雑記(2)

大分には、方言で「なしか」という言葉があり、地元ラジオ番組の影響もあり市民権を得ている。この「なしか」は「なぜだ、なぜこうしてだ？」といった意味である。

この方言を使って懇親会での会話をふりかえってみる。
これを読む人は、最後に大きく「なしか」と呼ぶと雰囲気が出る。

●平成卒の後輩に過去の思い出を話して聞かせても、怪訝な顔をされた。「エンタープライズ事件」「学園封鎖」「授業ボイコット」は最早死語? 「なしか」
(過去の戦士の言)

●自分は支部役員として頑張っているが、鵬友会の同窓会名簿には名前なし「俺は卒業生ではないのだ」と言いがた「行方不明と載らないだけ、まだまし」と言っている。酒を飲む「なしか」

関東支部

●支部長 小室 宏 (52年度卒)
〒04209-7202 76031
(自宅)
船橋市美杉台1-20-15

多彩な機能で、同窓会をバックアップ

ここ2、3年、関東支部の集まりでは、きまったメンバーが主で、初めて参加した人が少なく、しかも参加者も年々減少してしまいました。私が、前任の徳丸さんから支部長をバトンタッチしたのは、今から8年前の平成6年6月です。
最初のうちは、レクリエーション活動の充実や、学生の就職活動バックアップのためのOBセミナーを立ち上げたりで、新しいことにチャレンジしてきたのですが、最近はその行事を繰り返すのが精一杯だったのが原因の一つでした。

しかし、今年の夏、私は今までを反省し、新たな心で支部活動をすることを決意いたしました。その決意できたのは、一つには、仕事の中身ががらりと変わり、外出もできるようになり、職場も川越から情報の多い渋谷に移ったからです。
あまり、大声では言えませんが、日中の自由度が高くなったということです。もう一つには、関東支部の小野さんや関和さんのお陰ですが、支部のIT化を急速に進ませることができるようになったからです。
私は、本来、ルーチンワークが嫌いでレギュラーが好きで人間なので、今までの新しいことは、私の好奇心を掻き立てます。これから新たな関東支部の活動に期待下さい。

- 1月 天皇杯サッカー観戦 (国立競技場)
- 2月 七福神巡り (墨田区向島)
- 3月 ボーリング大会 (高田馬場ビッグボックス)
- 4月 観劇会 (千代田区上智大土手)
- 5月 東京タウン・ウォッチング (江東区深川)
- 6月 紫陽花見物 (千葉県松戸市)
- 7月 ビアパーティ (恵比須ガーデンシティ)
- 8月 花火見物 (中央区東京湾華火大会)
- 9月 なし狩り (千葉県鎌ヶ谷市)
- 10月 いも掘り (埼玉原川越市)
- 11月 紅葉見物 (神奈川県鎌倉市)
- 12月 ふく輪を囲む会 (築地有名料理店)

全国各地で おおとり達が 翔びています

の添削者がセットできる体制
学生 学生課 各支部長 添削者(多数の支部会員)

◇OBセミナー◇
(東京での就職セミナー)
1 参加する学生にとつて、ゆつたりとしたスケジュール
2 参加する学生にとつて、聞きたい話・経験したいことが選択できる
3 初めて参加するOBにとつて、気分が良くなる(OBの輪が広がる)
を3つの柱に、今年度から復活します。

◆関東支部のIT化
支部のホームページをリニューアルして親しみやすくします。
www.ho-yu.com
取得してアクセス数の増大を図ります。
・メールマガジンを創刊し、支部活動の情報を定期的に発信します。
・専用のPCおよび回線を用意し、常時管理を実現します。

追記
9月28日、池袋の東京芸術劇場で岡崎先生をお招きして会を開きました。久しぶりに参加された方や、住所不詳となっていた方が夕刊のコラムを見つけて駆けつけてくださったりで、今までにない盛況でした。
また、都合がつかず参加できなかった多くの方も、返信はがきに岡崎先生へのメッセージをしていただきました。

なしか、
ネタがあれば、次回に続く。

長崎支部

●支部長 古川 信利 (46年度卒)
〒09508-2050 6477
(自宅)
長崎市五島町5-34-1110

今後も地道に活動を継続

長崎支部は1月25日に長崎市の「セントポール長崎」で恒例の支部総会を開きました。大分側から岡崎先生、本部から前田敬一会長に出席いただきました。また今回は、元事務局に勤務されていた濱田輝治さん、馬場誠さんも参加されました。今後とも、参加者が一人でも多くなるように地道に呼びかけていくつもりです。



つての恩師をお招きしたいと考えています。すでに退官された先生のご住所等の情報をお持ちの方は、ぜひ、お知らせください。また、お会いしたい先生のリクエストもお受けしています。

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭 (46年度卒)
〒902-8806 03058
(自宅)
福岡市西区薬師2-2-4・303

支部総会、日曜開催で初の試み

福岡支部13年度の活動としては、例年通り本部役員会5回出席、第2回就職セミナー13名応援参加、留学生激励会出席、大分支部総会へのオブザーバー出席等本部を応援する体制で推移しました。
就職セミナーは毎年応援参加しておりますが、多方面からの参加が増え、学生にとつて良いセミナーになっていると実感しました。

支部独自の活動としては、従来金曜または土曜日の夜開催していた支部総会・親睦会を今月初の試みとして日曜日の昼、役員の一員である荒木氏のメキシコ赴任の送別会も兼ねて天神・平和楼にて午後1時から開催、石村元学長にもご出席を頂き、話に花を咲かせ楽しいひとときを過ごしました。

結果的には参加人数はいつもと変わらなかつたのですが、これまで帰りの時間等で参加出来なかつた直方等遠方からの出席があったので、一つの方向性としては良かったのではないかと考えております。
これを参考にして、本年の開催日時については支部役員会で決定次第案内しますので多数の参加をお待ちします。

事務局 だより

住所変更はホームページでOK

ホームページリニューアル予定

11月中旬をメドに鵬友会のホームページをリニューアルすべく今変更中です。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が盛り沢山。住所変更等にもご利用いただけます。どんどん活用して下さい。
【ホームページアドレス】
<http://homepage1.nifty.com/ho-yu/>

事務局長への連絡はフリーダイヤルが便利です。
活用して下さい。
0120-4799044

FAXもご利用いただけます。
皆さんどんどん活用して下さい。
0956-47-5581

卒業生の皆さん、鵬友会からの出欠ハガキ等は必ず返信して下さい。ちよつとした心掛けが同窓会を応援しています。

その他支部連絡先

関西支部
支部長 星 憲夫 (47年度卒)
大阪府高石市千代田1-27-7
電話 0722-65-5750

中国支部
支部長 平岡 弘幸 (49年度卒)
広島市西区楠木町4丁目1-20
電話 082-2337-9233

平成14年度予算

平成13年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位:円)

科目	予算金額	備考
1 会費 (卒業生)	360,000	@12,000×30名
2 会費 (新入生)	5,832,000	@12,000×486名
3 名簿代	—	
4 預金利息	2,000	
5 雑収入	350,000	激励会会費 50,000、総会会費 300,000
6 記念品積立金取り崩し	233,661	
7 懇友会基金特別積立金取り崩し	300,000	
(小計)	7,077,661	
前年度繰越金	586,475	
合計	7,664,136	

(収入の部) (単位:円)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 会費 (卒業生)	600,000	348,000	@12,000×29名
2 会費 (新入生)	5,892,000	5,904,000	@12,000×492名(内6名は院生)
3 名簿代	—	9,000	
4 預金利息	2,500	4812	
5 雑収入	100,000	70,000	激励会会費 70,000
(小計)	6,594,500	6,335,812	
前年度繰越金	654,987	654,987	
合計	7,249,487	6,990,799	

(支出の部)

科目	予算金額	備考
1 懇祭援助金	250,000	
2 卒業記念品代	300,000	
3 通信費	1,500,000	
4 人件費	900,000	
5 支部活動費	700,000	
6 旅費交通費	150,000	
7 渉外費	350,000	
8 事務局費	300,000	
9 印刷費	900,000	
10 懇友会基金特別積金	—	
11 留学生関係費	350,000	
12 会議費	100,000	
13 総会費	1,300,000	
14 雑費	64,136	
15 部費援助費	250,000	
16 就職活動援助費	250,000	
(小計)	7,664,136	
次年度繰越金	0	
合計	7,664,136	

(支出の部)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 懇祭援助金	250,000	250,000	
2 卒業記念品代	300,000	271,200	
3 通信費	1,000,000	919,444	
4 人件費	900,000	870,300	
5 支部活動費	700,000	700,000	
6 旅費交通費	300,000	128,510	
7 渉外費	250,000	367,732	
8 事務局費	300,000	283,577	
9 印刷費	800,000	582,700	
10 懇友会基金特別積金	1,000,000	1,000,000	
11 留学生関係費	400,000	397,831	
12 会議費	150,000	82,029	
13 総会費	300,000	155,390	
14 雑費	164,115	29,941	
15 部費援助費	250,000	200,000	
16 就職活動援助費	300,000	161,350	
17 40周年積立金繰入	0	4,320	
(小計)	7,249,487	6,404,324	
次年度繰越金	0	586,475	
合計	7,249,487	6,990,799	

《収入合計》 6,990,799—《支出合計》 6,404,324 = 《次年度繰越金》 586,475

平成14年7月3日 懇友会会長 前田 敬一

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 ・千北 裕吉・宮地 学

平成14年3月末日

平成14年3月末日

平成13年度貸借対照表

平成13年度財産目録

(単位:円)

資産の部		負債・資本の部	
現金	56,514	40周年積立金	1,228,094
普通預金	598,473	記念品積立金	233,661
定期預金	4,500,000	懇友会基金特別積立金	3,038,245
		繰越金	654,987
計	5,154,987	計	5,154,987

(単位:円)

預金種目	金額	預入先
現金	56,514	
普通預金	476,786	親和銀行
	121,687	親和銀行相浦出張所
定期預金	4,500,000	親和銀行
預金合計	5,098,473	
合計	51,54,987	

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。